三条印刷株式会社

オフィシャルパートナーとしての企業紹介

三条印刷は2021年10月より、尾瀬国立公園の木道を再資源化した「尾瀬の木道ペーパー」を活用する OZE BOARDWALK project を展開しています。デザインやワークショップなどを通じて自然保護に参加できる仕組みを構築し、売上の一部を環境保全活動へ還元しています。さらに、新潟県および近隣の国立公園を中心に、Web・SNS・動画発信に加え、ワークショップ体験を組み込んだツアーコンテンツへの参画や、子どもたちと共にサステナブルな活動を学び実践する体験イベントを実施。また、国立公園カレンダー制作販売や入域料木札、保全・整備活動とあわせ、「伝える・使う・守る」を一体化した持続可能な連携を推進しています。

【問合せ先】髙木敦　(関東ブロック営業部兼広報担当)　　連絡先：027-328-3355(直通/080-2167-9465)

Graphic & Media Supporting.
三条印刷株式会社

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
- 国立公園における保護と利用の好循環の実現
- 観光利用と環境負荷低減(脱炭素・ゼロカーボン観光)の両立
- 廃材・間伐材・未利用資源(木道材等)の有効活用と価値化
- 若年層・インバウンド層への国立公園の魅力発信
- 地域住民・事業者・企業が関わり続けられる保全活動の仕組みづくり　等

＜企業等の強み等＞
- デザイン企画・印刷・Web・動画プロモーションなどを一体化した情報発信力。
- OZE BOARDWALK project の取組をベースとした寄付連動型循環プロジェクトの設計と提案。
- 国立公園・自治体・企業・地域団体との連携実績とネットワーク。
- 現地取材・フィールドワークを重視したリアリティあるコンテンツ制作。
- 中小企業ならではのフットワークの良い対応力を活かした長期的な取組推進。

＜目標、実現したいこと＞
- 令和12年までに、複数国立公園で展開可能な「寄付連動型のコンテンツ作成プロモーションモデル」の確立。
- 国立公園の利用推進と環境保全の両立を実感できる具体的成果（寄付額・参加者・閲覧数等）の継続的な創出
- 企業・自治体・利用者が「参加したくなる」国立公園パートナーシップの好事例となること　(OZE BOARDWALK project・国立公園カレンダーなどの推進)

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞
- 循環型印刷商品を通じて環境保全に参加できる OZE BOARDWALK project を継続実施。売上の一部を寄付し、尾瀬国立公園の整備・保全活動に還元することで、寄付を軸とした地域連携を推進しました。
- 妙高市と連携し、妙高戸隠連山国立公園・妙高市登山口の入域料木札を制作。また同国立公園10周年事業において、環境省・自治体・OP企業と連携したプロモーションを実施しました。
- 国立公園カレンダーの一般販売を開始。OP企業4社と販売・広報連携を行い、「国立公園保全活動への寄付を含む商品」として付加価値を設計しました。
- 上信越高原国立公園において、大型フェスイベントと連動し、若年層・インバウンド層を対象とした体験型コンテンツを実施。国立公園の利用と保護の理解促進を図り、売上の一部を寄付しました。
- 複数の国立公園で、清掃や保全整備活動などネイチャーポジティブな取組に参加。現地活動の様子もSNS等で発信し、広く啓発を行いました。

＜次年度取組予定、構想＞
- 国立公園カレンダーの継続制作・販売を通じ、国立公園の利用推進と保全活動への貢献を継続します。OP企業および地域企業と連携し、参加型・体験型コンテンツの設計を進めるとともに、「売上・寄付額・OP連携件数など」について、本年度実績を上回る成果の創出を目指します。
- OZE BOARDWALK project と国立公園における保全・整備活動を組み合わせたツアー化を構想し、地域と連携した取組として展開していきます。
- 全国の国立公園を起点に「その地域の素材や人」「当社のデザイン力」を掛け合わせ、サステナブルな学びとモノづくりを共創します。OP企業とのワークショップやイベント、ツアーなどの連携を通じ、次世代へつながる取り組みを一緒に推進していきます。